

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第12期2月度理事会議事録

- I. 日 時：平成27年2月7日（土）13:15～16:40
- II. 場 所：東京都港区 TKP田町カンファレンスセンター B1会議室
- III. 出席者数：理事総数26名 出席理事数26名（内委任出席5名）
- IV. 出席理事氏名：木戸康博（理事長）、鈴木公（副理事長）、池本真二、石田裕美、石見佳子、上西一弘、岡純、笠原賀子、亀井明子、川島由起子、齋藤長徳、酒井映子、酒井徹、鈴木和春、寺本房子、富田教代、新澤祥恵、早淵仁美（第62回学術総会会長）、春木敏、藤田修三、八木典子、荒川義人（委任出席）、河野美穂（委任出席）、坂井堅太郎（委任出席）、田中弘之（委任出席）、南久則（委任出席）

出席監事氏名：酒元誠治、林静子

V. 審議事項

【I. 庶務関連事項】

1. 協力会員の入会
2. 次期支部会選出理事候補者定数の報告
3. 管理栄養士養成課程における教育のあり方委員会の設置
4. 今後の会議予定

【II. 財務関連事項】

1. NPO第12期経費執行状況
2. NPO第12期会員（会費納入）の状況

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況

【IV. 学術関連事項】

1. NPO第12期事業執行状況
2. 平成27年度学会賞・奨励賞の選考
3. 第61回学術総会会計報告
4. 第62回学術総会準備状況
5. 第63回学術総会準備状況
6. 第64回（2017年）学術総会会長候補者の推薦
7. 倫理審査委員会報告
8. 管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム2015の提案
9. 関連学協会等との連携
 - (1) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会「ワークショップ資料」公開協力
 - (2) 生活科学系コンソーシアム会議記録（第13回・第14回）
 - (3) 厚生労働省「日本人の長寿を支える「健康な食事」のあり方に関する検討会報告書」普及・活用協力
 - (4) 独立行政法人国際協力機構（JICA）「ザンビア栄養改善プログラム協力隊募集」周知協力
 - (5) 農林水産省主催「日本食文化の魅力シンポジウム」周知協力
 - (6) 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成26年度食育健康サミット」後援
 - (7) 国立大学法人東京大学総括プロジェクト機構総括寄付講座「食と生命」、ネスレ栄養科学会議、ネスレリサーチ東京「食と生命のサイエンス・フォーラム」後援
 - (8) 日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会「第9回子どもの食育を考えるフォーラム」後援・実施報告
 - (9) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部会「第17回脂質栄養シンポジウム」後援

- (10) 一般社団法人臨床栄養実践協会「設立記念セミナー」後援
- (11) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会大豆のはたらきin仙台」・「平成27年度研究助成募集」周知協力と講演会后援御礼・開催報告
- (12) 一般社団法人日本家政学会「公益信託家政学研究助成基金平成27年度申請者募集」周知協力
- (13) 一般社団法人日本病院会、公益社団法人地域医療振興協会、MSD株式会社共催「イノベーター・オブ・ザ・イヤー候補者推薦」周知協力
- (14) 乳の学術連合「平成27年度学術研究公募」周知協力
- (15) 公益財団法人住友生命健康財団「2014年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」選考結果報告

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業

【VI. 国際関連事項】

1. 第12回アジア栄養学会議

【VII. 支部会報告】

1. 北海道支部会
2. 東北支部会
3. 関東・甲信越支部会
4. 北陸支部会
5. 東海支部会
6. 近畿支部会
7. 中国支部会
8. 四国支部会
9. 九州・沖縄支部会

【VIII. 回覧資料による各種報告】

1. 複写に係る著作権使用料の分配報告
 - (1) 一般社団法人出版社著作権管理機構（2013年度分）
 - (2) 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会（2014年分）
2. 健康食品新聞（食品化学新聞社）「15関連素材研究会&団体マップ」掲載

VI. 議事の経過の概要及び議決の結果

【I. 庶務関連事項】

1. 協力会員の入会・・・次の2社の入会について報告があった。2月5日現在の協力会員名簿（21社・22口）が配付された。
 - カリフォルニアくるみ協会（港区東麻布1-5-3パシフィックビル3F ユニフレックスマーケティング株式会社内）
 - カリフォルニアプルーン協会（港区東麻布1-5-3パシフィックビル3F ユニフレックスマーケティング株式会社内）
2. 次期支部会選出理事候補者定数の報告・・・理事候補者選挙管理委員会から次のとおり報告があった。
〔支部会選出理事候補者定数〕
 - 北海道1名、東北1名、関東・甲信越6名、北陸1名、東海1名、近畿3名、中国1名、四国1名、九州・沖縄1名
3. 管理栄養士養成課程における教育のあり方委員会の設置・・・管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラムの検討を含め、養成課程における教育のあり方について常設委員会を設

置することを承認し、設置に向けた作業を進めることを了承した。

4. 今後の会議予定…主な会議の予定は次のとおりである。

〔総会〕 9月24日

〔評議員会〕 9月24日

〔理事会〕 5月9日、8月29日

〔監事会〕 8月29日

〔役付理事打合会〕 4月18日、7月25日

〔次期理事長・副理事長候補者選出理事会〕 7月25日

【Ⅱ. 財務関連事項】

1. NPO第12期経費執行状況…2月3日現在の経費執行状況（活動計算書、貸借対照表、事業別損益計算書、収支計算内訳書）が配付され、会費収入の確保が課題であることが報告された。
2. NPO第12期会員（会費納入）の状況…資料として、①今期の支部会別会員数（都道府県別付き）、②NPO第2期（平成16年度）から今期までの新規・継続別正会員数（全国、支部会別）が配付され、会員の減少傾向が続いていることが報告された。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況…2月2日現在の投稿・掲載等の状況が配付資料により報告された。

【Ⅳ. 学術関連事項】

1. NPO第12期事業執行状況…2月3日現在の事業執行状況が配付資料により報告された。
2. 平成27年度学会賞・奨励賞の選考…次の選考日程を承認した。参考資料として過去5年間の学会賞・奨励賞選出状況が配布された。ここ数年、推薦件数が極めて少ないことを確認し、理事・支部会を中心に候補者の推薦に積極的に尽力することとした。

〔選考日程〕

2月16日 候補者推薦依頼文書送付（全評議員）

2月27日 栄養学雑誌第73巻第1号発送（学会賞・奨励賞候補者推薦依頼）

3月27日 推薦締切

4月20日～5月8日 学会賞等選考委員会

5月9日 理事会（受賞者決定）

3. 第61回学術総会会計報告…法人税課税対象収支を含む会計報告が配付され、これを了承した。第61回学術総会会長より、学術総会で購入した消耗品（パソコン・プリンター194,940円）について、事務局を設置していた神奈川県立保健福祉大学に寄贈したい旨、書面により申し出があり、これを承認した。第61回学術総会の剰余金は、学術総会の運営に関する申し合わせに基づき、NPO第13期の支部会追加活動費とすることとし、各支部会への追加額を次のとおり承認した。

〔NPO第13期支部会追加活動費〕

関東・甲信越支部会（第61回学術総会担当）：20万円

他の8支部会：各10万円

4. 第62回学術総会準備状況…プログラムの概要が配付された。第一日に通常総会、企業展示の搬入、ウェルカムドリンクと同時進行で一般演題（示説）を予定していることについて質疑があった。それぞれのプログラムに支障がないよう、十分配慮して運営する旨、説明があった。

来期で3回目となる実践栄養学研究セミナーは、今期と同様に学術総会第一日の18時から会場を確保していることが報告された。このセミナーの運営主体について質疑があり、学術担当理事が中心となって進めることを確認した。

5. 第63回学術総会準備状況…藤田理事から実行委員会の設置、4月を目処にメインテーマの決定等、準備状況について説明があった。また学術総会に関する細則に定める役職については、

次回理事会での提案を予定していることを了承した。

6. 第64回（2017年）学術総会会長候補者の推薦・・・次回理事会で学術総会会長候補者を提案すべく、検討中であることが説明された。

7. 倫理審査委員会報告・・・事務局から、前回（NPO第11期7月度）理事会以降、新たな申請はなく、また現在、審査中の案件もないことが報告された。

8. 管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム2015の提案・・・鈴木副理事長から、現在パブリックコメントを募集中（3月20日締切）であり、すでに学会内外から貴重な意見をいただいている旨、説明があった。続いて木戸理事長から、理事各位も本件について「思うこと」はすべて、パブリックコメント募集期間中に意見を提出するよう発言があった。

「演習」の教育形態について、本提案では実技（実験、実習と同等）科目で整理しているが、現行カリキュラムでは「講義」で整理している養成施設もあることが指摘された。これについて審議の結果、本学会では「実技」面を強調して「演習」を捉えており、本提案においてその考えを明確にしていることから、公表している原案どおりとすることを確認した。

9. 関連学協会等との連携・・・次の事業について後援依頼等があり、これを了承した。

(1) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会「ワークショップ資料」公開協力

(2) 生活科学系コンソーシアム会議記録（第13回・第14回）

(3) 厚生労働省「日本人の長寿を支える「健康な食事」のあり方に関する検討会報告書」普及・活用協力

(4) 独立行政法人国際協力機構（JICA）「ザンビア栄養改善プログラム協力隊募集」周知協力

(5) 農林水産省主催「日本食文化の魅力シンポジウム」周知協力

(6) 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成26年度食育健康サミット」後援

(7) 国立大学法人東京大学総括プロジェクト機構総括寄付講座「食と生命」、ネスレ栄養科学会議、ネスレリサーチ東京「食と生命のサイエンス・フォーラム」後援

(8) 日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会「第9回子どもの食育を考えるフォーラム」後援・実施報告

(9) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部会「第17回脂質栄養シンポジウム」後援

(10) 一般社団法人臨床栄養実践協会「設立記念セミナー」後援

(11) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会大豆のはたらきin仙台」・「平成27年度研究助成募集」周知協力と講演会后援御礼・開催報告

(12) 一般社団法人日本家政学会「公益信託家政学研究助成基金平成27年度申請者募集」周知協力

(13) 一般社団法人日本病院会、公益社団法人地域医療振興協会、MSD株式会社共催「イノベーター・オブ・ザ・イヤー候補者推薦」周知協力

(14) 乳の学術連合「平成27年度学術研究公募」周知協力

(15) 公益財団法人住友生命健康財団「2014年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」選考結果報告

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・2月3日までの更新情報が配布資料により報告された。また支部会活動の周知・活性に学会ホームページを積極的に利用して欲しい旨、発言があった。

【VI. 国際関連事項】

1. 第12回アジア栄養学会議・・・共催シンポジウムのテーマ、演者等について口頭により報告された。また本理事会での議題ではないが、大韓地域社会栄養学会との学術交流について、次の話題提供があった。

[大韓地域社会栄養学会との学術交流]

○第5回日韓栄養シンポジウム・・・11月にソウルで開催する。本学会から同シンポジウムのシンポ

ジスト2名に加え、同時開催の大韓地域社会栄養学会シンポジウムにシンポジスト1名を招聘したい旨、連絡があった。

- 日韓シンポジウムは日韓交互に開催しているが、同シンポジウムの開催地とならない年の学術総会についても「学术交流の場」としたい旨、連絡があり、第62回学術総会ではこれに対応すべく準備を開始した。

【VII. 支部会報告】

1. 北海道支部会…荒川理事が委任出席のため、書面報告された次の内容について説明があり、学術総会講演集が回覧された。第12回支部会学術総会は、板垣康治北海道文教大学教授を学術総会会長とし、12月6日に藤女子大学で市民公開講座とともに開催した。参加者は学術総会128名、市民公開講座121名、支部会奨励表彰は基礎分野1名、実践分野1名を表彰した。
2. 東北支部会…支部会事業は前回（NPO第12期11月度）理事会での報告どおりであり、第63回学術総会に向けて準備を行っている旨、報告があった。
3. 関東・甲信越支部会…第2回支部会学術総会は、石見佳子独立行政法人国立健康・栄養研究所部長を学術総会会長とし、2月28日に独立行政法人国立健康・栄養研究所で開催する。今回から一般演題を募集し、11演題のポスター発表を予定している。NR、日本栄養士会（生涯教育）の単位認定を受けている。
4. 北陸支部会…第10回支部会学術総会は、新澤祥恵北陸学院大学短期大学部教授を学術総会会長とし、2月22日にホテルサンルート小松で市民公開講座とともに開催する。一般演題は21演題を予定している。
5. 東海支部会…第4回支部会学術総会は、辻とみ子名古屋文理大学教授を学術総会会長とし、6月28日に名古屋文理大学で市民公開講座とともに開催する。
6. 近畿支部会…第13回支部会学術総会は、宮崎由子京都女子大学教授を学術総会会長とし、12月7日に京都女子大学で開催した。参加者は293名、一般演題は89演題であった。日本栄養・食糧学会近畿支部会と共催する第5回栄養学を志す若手のためのフォーラムは、12月6日に京都女子大学で開催し100名を超える参加者を得た。市民公開講座事業も計画していたが、今期は見送ることとなった。
7. 中国支部会…第11回支部会学術総会は、人見英里山口県立大学教授を学術総会会長とし、7月4日～5日に山口県で市民公開講座とともに開催する。
8. 四国支部会…第2回支部会学術総会は、津田とみ徳島文理大学教授を学術総会会長とし、4月25日に徳島大学で市民公開講座とともに開催する。
9. 九州・沖縄支部会…本理事会での報告はなかった。

支部会報告について、理事長から担当理事本人が会議に出席できない場合も、事前の文書報告あるいは出席する所属支部会理事に報告を依頼するなど、細やかな対応を期待したい旨、発言があった。

また支部会活動のため支部会会員のメールアドレスを提供して欲しい旨、発言があったが、NP0第11期8月度理事会で定めた「提供する会員情報の範囲」を継続することを了承した。提供方法としてExcelデータ（パスワード設定）、PDFデータ、宛名ラベルの方法があることを確認した。

【VIII. 回覧資料による各種報告】

1. 複写に係る著作権使用料の分配報告…回覧資料により報告があり、これを了承した。
 - (1) 一般社団法人出版社著作権管理機構（2013年度分）
 - (2) 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会（2014年分）
2. 健康食品新聞（食品化学新聞社）「15関連素材研究会&団体マップ」掲載…回覧資料により報告があり、これを了承した。

VII. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、笠原賀子理事及び酒井映子理事を選任することを全員異議なく承認した。

VIII. その他

理事会終了後、会場を移動し新年懇親会（希望者のみ参加）を行った。

以上